

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

### 【事故概要について】

|                 |                                                                                     |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別  | 事故                                                                                  |
| 2. 体験した事例の名称    | 狭隘地域における火災事案にて、消防吏員同士の衝突事案                                                          |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 見通しの悪い狭隘な路地で、消防吏員同士が衝突した。                                                           |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 現場付近が狭隘且つ夜間で見通しの悪い路地であり、多くの酒気を帯びた市民が通行している状態で、消防吏員同士の活動が制限される状況であったために起こったものと考えられる。 |

### 【体験した事例の直接的原因について】

|                  |                                            |
|------------------|--------------------------------------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 情報入力に問題があった。(指示や助言が聞こえなかった。近くの隊員に気付かなかった等) |
|------------------|--------------------------------------------|

### 【体験した事例について】

|                                  |                     |
|----------------------------------|---------------------|
| 1. 発生日時                          | 平成28年4月28日 午前3時頃    |
| 2. 発生した当時の天候                     | 雨                   |
| 3. 発生した活動現場                      | 屋外：狭隘な路地            |
| 4. 体験した事例の種類                     | 回答者が、自分自身で負傷した。     |
| 5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)  | 軽傷の怪我               |
| 6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)     | その他：衝突              |
| 7. 事例体験時の活動                      | 火災現場活動初期、[ 木造建物 ]   |
| 8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか         | ホース延長               |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | これまでに1, 2回程度体験している。 |

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

|                   |                                                                 |
|-------------------|-----------------------------------------------------------------|
| ○当事者A             | 年齢[27]歳、勤続年数[6]年、現場経験年数[6] 年、階級[消防士]<br>同様の活動 [数年に1度程度]、任務 [隊員] |
| ○当事者B             | 年齢[27]歳、勤続年数[2]年、現場経験年数[2] 年、階級[消防士]<br>同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]     |
| ○当事者C             | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ] 年、階級[ ]<br>同様の活動 [ ]、任務 [ ]           |
| ○その他(当事者が4人以上の場合) |                                                                 |

[illegible]

|      | 誰が(何が)        | なにをした               | その他・備考など |
|------|---------------|---------------------|----------|
| 経過1  | 行為者           | ホース延長後、走って現場活動に向かう際 |          |
| 経過2  | 行為者及び<br>他の隊員 | 見通しの悪い狭隘な路地で衝突した。   |          |
| 経過3  |               |                     |          |
| 経過4  |               |                     |          |
| 経過5  |               |                     |          |
| 経過6  |               |                     |          |
| 経過7  |               |                     |          |
| 経過8  |               |                     |          |
| 経過9  |               |                     |          |
| 経過10 |               |                     |          |
| 経過11 |               |                     |          |
| 経過12 |               |                     |          |

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

周囲の視界が確保できていなかった

### ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | はい  |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。         | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。              | はい  |

b. 注意力が欠如していた

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | はい |
| ・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | はい |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | はい |

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | いいえ |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | いいえ |

d. 心身の不調があった。

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | はい  |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                      |     |
|----------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。    | いいえ |
| ・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。  | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。   | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| ・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。       | はい |
| ・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。 | はい |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭い場所であった。       | はい  |
| ・暑かった(寒かった)。     | いいえ |
| ・野次馬が多かった。       | はい  |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・足元が濡れたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)           | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。) | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |     |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

|  |
|--|
|  |
|--|

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

現場到着時、周囲の状況を判断し、冷静な活動を実施するよう心掛ける。

○装備・資機材の対策について

問題なし。

○活動環境の対策について

視界不良時には、ライト等を活用し、事故の発生を未然に防止するよう心掛ける。

○指揮・情報伝達の対策について

問題なし。

【図】

当事者 A が見通しの悪い  
交差点を右折した際、当事  
者 B と衝突した。

